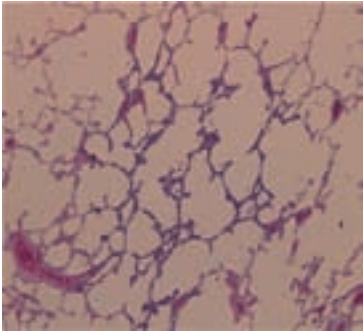
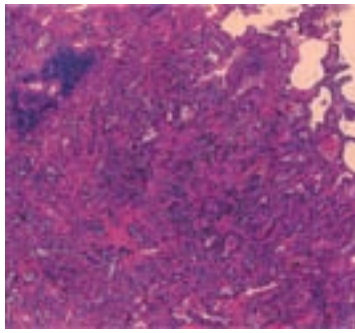


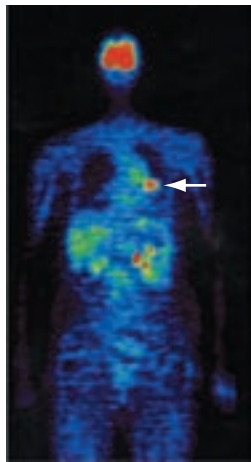
Aのスリガラス性陰影の病理組織像



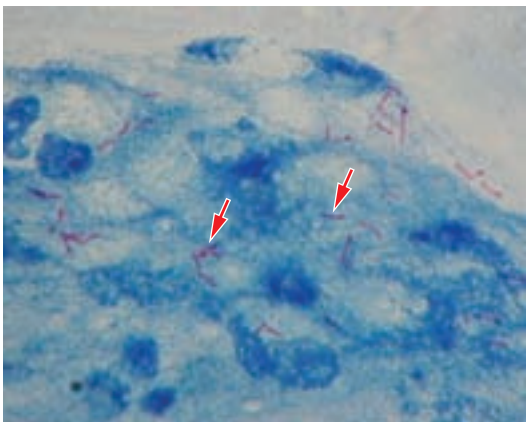
Bの浸潤影の病理組織像



図A ● 切除肺の組織像 (HE染色)
(75 ページ図 20 参照)

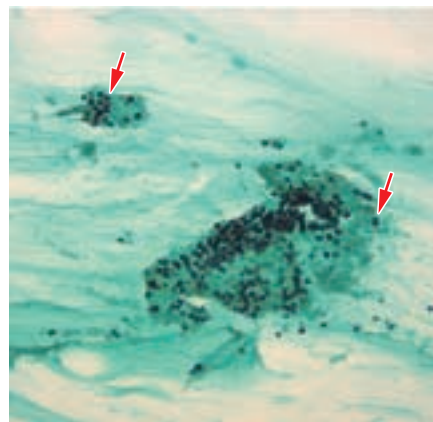


図B ● ^{18}F -FDG PET 画像
(79 ページ図 25 参照)
左下葉の肺癌に取り込みを認める



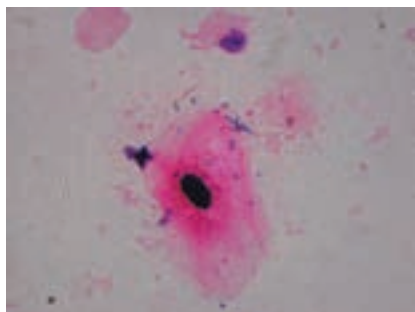
図C ● 喀痰の Ziehl-Neelsen 染色 (抗酸菌)
(108 ページ図 1 参照)

青の背景に、抗酸菌の菌体が赤く染まっている (矢印).
染色所見から結核菌と非結核性抗酸菌を区別することはできない



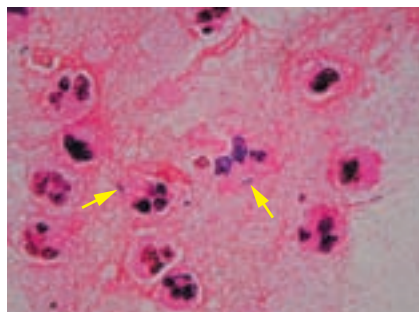
図D ● 喀痰のグロコット染色
(ニューモシスチス)
(108 ページ図 2 参照)

Pneumocystis jirovecii の嚢子が黒く染まっている (矢印)



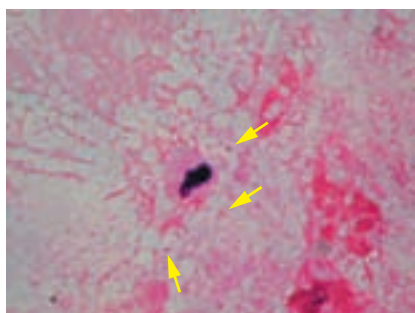
図E ● 扁平上皮と口腔内常在菌
(不適切な喀痰検体)
(168 ページ参照)

扁平上皮に、複数の形態の細菌(双状、鎖状、クラスター状のグラム陽性菌や、グラム陰性菌)が付着している。これが多数みられるものは、検体として不適切である



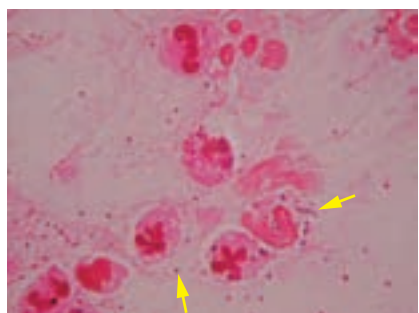
図F ● *Streptococcus pneumoniae*
肺炎球菌 (グラム陽性双球菌)
(168 ページ参照)

夾膜をもつ、グラム陽性双球菌である



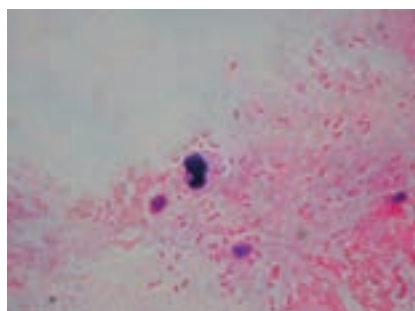
図G ● *Haemophilus influenzae*
インフルエンザ菌 (グラム陰性桿菌)
(168 ページ参照)

球桿菌といわれる、とても小さなグラム陰性桿菌である



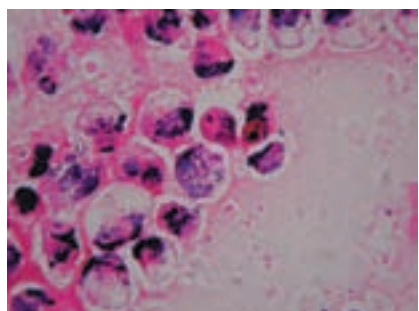
図H ● *Moraxella catarrhalis*
モラキセラ・カタラーリス

(グラム陰性双球菌) (168 ページ参照)
丸々としたグラム陰性双球菌、淋菌・髄膜炎菌 (グラム陰性双球菌) やアシネトバクター (グラム陰性短桿菌、院内肺炎の起原因菌として重要) もこれと似たようなグラム染色像である



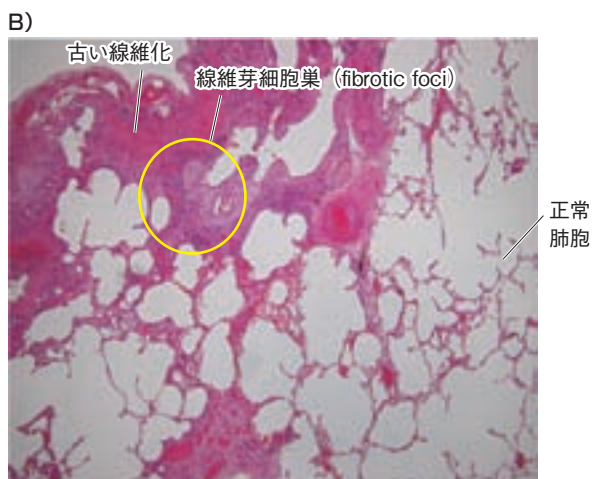
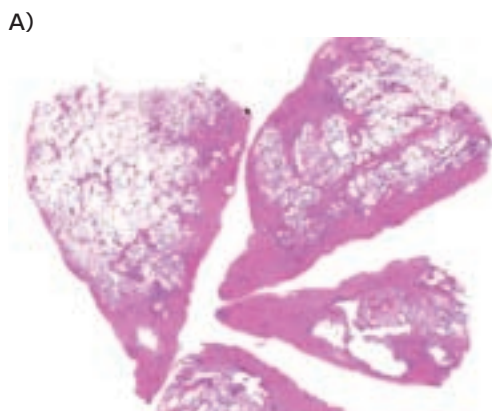
図I ● *Klebsiella pneumoniae*
肺炎桿菌 (グラム陰性桿菌)
(172 ページ参照)

太くて比較的大きなグラム陰性桿菌。夾膜をもつのは *K. pneumoniae* である。夾膜はないが、大腸菌やエンテロバクターなどの腸内細菌も似たような形態のグラム染色像をとる

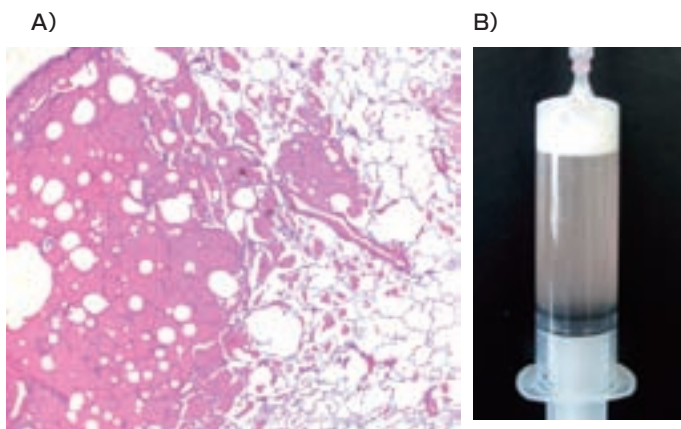


図J ● *Staphylococcus aureus*
黄色ブドウ球菌 (グラム陽性球菌)
(175 ページ参照)

多数の房状のグラム陽性球菌が白血球に貪食されている



図K ● IPFの組織像 UIPパターン
(254 ページ図6 参照)



図L ● 肺胞蛋白症の組織像 (A) と気管支洗浄液 (B)
(267 ページ参照)



図M ● CADMの患者に認められた
Gottron 徴候
(274 ページ図2 参照)

第2～4指PIP関節ならびに第2指DIP
関節の伸側に落屑状の皮疹を認める